



空そら 市民創世会  
美英よしひで 議員

## 動物愛護について

**問** 飼い主のいない猫から生まれる猫を増やさないための取組は。

**答** 市では、(一社)ふくい動物愛護管理支援センター協会に飼育、譲渡等に関する相談業務、飼養マナーの啓発業務等、専門的な所見での対応を委託している。

飼い主のいない猫を将来的に減らす取組である地域猫活動があるが、地域住民の合意が不十分なため、トラブルにつながる事例も聞いている。市でも先進事例を参考に事業化を考えているが、新型コロナウイルスの先行き不透明な中、地域住民への十分な説明ができない状況であるため、事業化

に向けては、区長会への説明をはじめ、関係機関や、獣医師会、猫を保護するNPO等と情報を共有しながら検討していきたい。

**意見** 人間と一緒に生きる「動物たちの命」を守ってやらなければならない。それができるのは人間しかいない。これ以上不幸な猫たちが増えないよう私たちも頑張っていきたい。



動物愛護センターで保護されている猫



木村きむら 市民創世会  
愛子あいこ 議員

## ひとづくり・まちづくり

**問** 持続可能な地域づくりのためにはウィズコロナでも、集まるコミュニティ、公民館であらねばならない。ズームやオンラインも活用したひとづくり・まちづくりのあり方について所見を伺いたい。

**答** 教育長 文科省の中教審で新しい時代の生涯学習・教育について基本的な方向性や推進方策の整備が示された。学びをとめず、人とのつながりを続ける為に、ICTを活用したオンライン学習の場やウェブ会議を利用したコミュニケーションの場の確保や新たなテクノロジーを活用した学べる場の工夫が必要と考える。

また、高齢者や若者が参加しやすいよう、活動内容を工夫することにより、より多くの地域住民の「人づくり」を広げるとともに、ICT機器が容易に利用できる環境づくりが重要になってくる。

公民館職員は、今後、社会教育士の研修を受講することで、ひとづくり、地域づくりの中核的役割を担う人材として資質の向上に努めていく。



コロナ禍の地域づくり活動とは



# SDGs に関する議員研修会

昨年、SDGs（持続可能な開発目標）の理念の浸透と、市民一人一人の行動拠点となることを目指し、めがね会館9階に、さばえSDGs推進センターが設置されました。

鯖江市では特に、目標5「ジェンダー平等の実現」を積極的に推進しており、その理解を深めるため、3月18日に議員研修会を開催しました。

ジェンダー平等とは、男性も女性も社会的に平等であること。性別によって差別されないことです。

当日は、地域おこし協力隊の川口 サマンサさんから、詳しいお話をお聞きし、議員からは、活発に質問がされていました。



さばえSDGs推進センターでの研修会の様子